

苦難あるところに日本共産党

大阪北部地震
豪雨災害

すぐ現場へ生活再建へ全力

相次ぐ自然災害。近畿選出の日本共産党国会議員は、「苦難あるところ党あり」の立党の精神で被災者支援・生活再建へ奮闘しています。

繰り返される事故に怒り



大阪北部地震当日、高槻市・寿栄小の女児死亡現場を訪ねた(右から)山下、宮本両国会議員ら=6月18日

想定こえる事態に対応を



浸水した商店で要望を聞く(右から)穀田、倉林各議員と井上議員(左端)=7月15日、舞鶴市

現場に直行、翌日質問

大阪北部地震当日、山下よしき参院議員は宮本岳志衆院議員らとブロッック崩壊で女児が死亡した高槻市・寿栄小の現場に直行。二度と繰り返してはならない」と表明。翌日、宮本議員が安全総点検を国に求めました。

京都北部 水害を調査

こくた恵二衆院議員、井上さとし、倉林明子両参院議員は豪雨で由良川沿いの内水氾濫が起きた京都府北部を調査。こくた氏は「国の説明や想定を超える事態。調査し被災地の要望に応えながら対策を」と話しました。

土砂撤去急いで

兵庫で要望聞く



神戸市兵庫区の住宅地で調査する宮本議員(中央)、金田参院選挙区予定候補(その右ら)7月15日

従来の枠こえ必要な支援を

「二部損壊」も対象に



大阪北部地震で国に要望する宮原たけし、石川たえ両府議(前列中央)ら大阪の地方議員と山下参院議員(同右)

党大阪府議団、地震被害の大きかった北摂地域の9市の議員団と国会議員は7月12日、「被災者の生活再建第一に従来の枠を超え必要な支援を」と政府交渉しました。大阪北部地震は都市部の住宅密集地を直撃、家屋損壊の9割が何の支援もなく「一部損壊」です。

「震災後の大雨で住めない」「借家では大家は改修費が払えず、大家も入居者も苦しんでいる」と、「一部損壊」も支援対象にするよう訴えました。

大阪政府交渉 現場の声で迫る

破損瓦の処理 屋根上も補助
地震で落下した瓦は災害ゴミとして処理費用の9割が国から補助されますが、屋根に残った瓦は対象外でした。宮原たけし大阪府議とたつみこたロー参院議員は7月24日、環境省と交渉、屋根の瓦も落下と同様にすると回答を得ました。この内容は8月3日付で関係自治体に通知されました。

生活再建支援制度の拡充求める

宮本衆院議員
高槻市など大阪北部の4市は地震で一部損壊住宅が2万6千棟を超えるのに、被災者生活再建支援制度の対象が「全壊被害10世帯以上の市町村」となっているため制度の適用外です。宮本岳志衆院議員は、「極めて理不尽だ」と批判し、同制度を見直す「検討会」を設置するよう提案しました(7月5日、災害対策特別委)。

参院比例代表
7議席をめざします

制度解説

19年7月参院選投票方法

▼比例代表は「日本共産党」と政党名を書きます

個人名でも投票できます

▼選挙区は「候補者の名前」を書きます



紙 智子
参院議員



梅村さえこ
前衆院議員



小池 晃
党書記局長



しいばとしゆき
党中央委員



井上さとし
参院議員



山下よしき
党副委員長



仁比そうへい
参院議員

JCP Supporter

サポーター制度

HPからどなたでも登録できます

国会報告

近畿ブロック事務所ニュース

2018年
8・9月号

発行/日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115